愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合演習 I		
担当者(Instructors)	堀 建治	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「保育」とは何かについて、「遊び」を中心として実践的な基盤形成をめざす。実技では担当教員が示す遊びリストがすべてできる「遊び名人」をめざす。子どもとのかかわりでは「遊び」、保育者間ではチームワークとそれぞれの場面によって要求される実践力を身に付けることをねらいとする。また保育施設に出掛けての見学や体験を通じて、自身の実践力を高める。

■授業形態・授業の方法(Class form)		
授業形態(Class form)	演習	
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。各自、ディスカッションやグループワーク、保育実技や教材研究を通じて「保育」の理論・実 践面についての理解を図る。	

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分 (Media)
第1回	オリエンテーション	授業の内容、進め方について確認する。	
第2回	保育の基礎理論	保育の基礎理論について、ディスカッションを通じて理解を深める。	
第3回	報告書の作成	報告書の作成について、基礎的事項について学ぶ。	
第4回	資料の収集	報告書作成の基盤となる資料の収集方法について学ぶ。	
第5回	「遊び」の実践①(手遊び)	保育教材のひとつである「手遊び」について実践する。	
第6回	「遊び」の実践②(パネルシアター)	保育教材のひとつである「手遊び」について実践する。	
第7回	遊びの紹介①	グループで考えた遊びを模擬保育の要素を含めて発表する。さらに 紹介した遊びを「遊びレシピ」としてまとめる。	
第8回	遊びの紹介②	グループで考えた遊びを模擬保育の要素を含めて発表する。さらに 紹介した遊びを「遊びレシピ」としてまとめる。	
第9回	遊びの紹介③	グループで考えた遊びを模擬保育の要素を含めて発表する。さらに 紹介した遊びを「遊びレシピ」としてまとめる。	
第10回	保育施設における活動準備①(計画の 立案)	保育施設での活動にむけて、計画を立案する。	
第11回	保育施設における活動準備②(教材の 準備)	保育施設での活動にむけて、教材の準備をする。	
第12回	保育施設における活動①(見学・参加)	保育施設での活動を見学しつつ、実際に活動に参加する。	
第13回	保育施設における活動②(実践)	計画に基づき、保育施設において保育教材を実践する。	
第14回	活動の振り返り	ディスカッションを通じて、個別及び全体での課題を確認し、活動 の振り返りを行う。	
第15回	まとめ	前期における活動を総括し、授業内で成果を発表する。	

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習は、事前に論点を確認するとともに、文献やインターネット等で調べる。遊び教材に関する準備をする(2時間程度)。事後学習は 授業内で実践したことを振り返りをしつつ、不足分について関連文献を読み込み、資料収集を行い、成果の定着を図る(2時間程度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

指導案作成や各種課題については授業時間内に適宜、返却する。 授業時間外の場合はオフィスアワー、もしくは教員が研究室に在席し、対応できる場合は随時対応する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)			
区分(Division) DP区分(DP division) 内容(DP contents)		内容(DP contents)	
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	少人数での活動を通し、様々な授業で学んだ専門的知識・技能を応用的かつ実践的 に活用することができる	
思考力・判断力・表現力 ◇ 2019全学共通DP2 基礎学力を踏まえた専門的知識と学習経験を踏まえて、自らの課題を前向きに え、自分の思いを自在に表現し、発信することができる		基礎学力を踏まえた専門的知識と学習経験を踏まえて、自らの課題を前向きにとら え、自分の思いを自在に表現し、発信することができる	
主体性	◆ 2019全学共通DP3	自己研鑽する保育者となるために多様な人々の中で自己を理解し、実践を通じて主 体的に学び、問題を解決することができる	

■成績評価(Evaluation	method)
------------------	---------

筆記試験(Written	実技試験(Practical	レポート試験(Report	授業内試験 (in-	その他(Other)
exam)	exam)	exam)	class exam)	
			20%	80%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

受講態度・参加意欲・授業貢献(20%)、その他:課題の提出状況(80%) ・受講態度・参加意欲・授業貢献については、発言など積極性を中心に評価する・課題の提出状況については、期限・内容等から評価する

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		